

平成27年度 事業計画

滋賀県では「滋賀ならではの」の特色を活かした、魅力あふれる観光の創造を重点政策にした滋賀県基本構想や、その理念の施策の基本的な方向などを定める滋賀県産業振興ビジョンが新たに策定され、「ふるさと魅力向上」や「商い・おもてなし」イノベーションによる来訪者との交流を生み出す仕組み作りが進められている。(公社)びわこビジターズビューローは平成26年1月に策定された県の「観光交流」振興指針においても「観光交流」の振興を担う中核組織として位置づけられており、滋賀県における観光物産振興ならびに地域の活性化を図る役割が果たせるよう、平成30年度までの中期計画を策定するところである。

中期計画では、国において「観光立国推進基本計画」が策定され、観光を国の成長戦略に位置づけられていることや、滋賀県の人口が平成26年10月より減少局面に入ったと推測され、今後少子高齢社会の到来、国際交流の進展を視野に「**観光による交流人口の拡大で地域振興と経済の活性化を図る!**」ことを重点テーマとしている。平成27年度は取組みの初年度として、中期計画に掲げた3つの目標の達成に向けて県や市町、観光関係団体、観光事業者等と有機的連携を図りながら事業計画を展開することとする。

また、平成26年度国の補正予算で地方創生先行型交付金対象事業として、早期発現効果が高い事業の一つである、観光振興が優先的に実施されることから、あわせて平成27年度事業として滋賀の魅力向上、発信のため県と連携しながら事業に取り組むこととする。

目標1の観光地「**滋賀・びわ湖(BIWAKO)**」の認知度向上では、観光ブランド「**ビワイチ**」の推進を、「**ビワイチ**」認定ツアーの拡充とともに、滋賀の魅力を際立たせる観光素材(=ビワイチマテリアル)を、県・市町が連携しながら発掘し、ビワイチの旅づくりを強化する。

また、ターゲットを意識した継続的な情報発信強化では、平成26年度に観光物産情報ホームページの再構築を行い、より急速に普及するモバイル端末(スマートフォン・タブレット)やSNSに対応したところであるが、平成27年度は国の補正予算として新たに4か国語に対応する訪日観光客向けのウェブサイトを構築し、海外へ向けて情報発信するとともに、今後増加する訪日観光客がモバイル端末(スマートフォン・タブレット)やSNSを利用することに対応できるようする。現在構築中の県内無料Wi-Fi案内サイトで、5言語(日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語)の利用案内をすることで、国内、海外からの誘客に対応する。

物産振興事業については、これまで首都圏で滋賀県産品の販売を行ってきた高島屋東京店での「大近江展」や滋賀の特産品の地産地消を促進する西武大津ショッピングセンターでの「滋賀のええもんうまいもん祭り」、東京観光物産情報センター(ゆめぷらざ滋賀)での展示紹介事業を引き続き実施する。また、地元量販店での物産展を開催し、物産展を盛り上げる企画を実施するとともに200を超える物産部会員に向けた、ホームページの充実や研修会の開催と併せて、販路の開拓に向けて調査研究を進め、情報発信等の方策を検討する。

目標2の「**滋賀ならではの**」の素材や強みを生かした**特色あるツーリズムの展開**では、滋賀の特色を際立たせる誘致活動の推進として、国内旅行誘致で、「冬のおもてなし旅」をテーマに滋賀県内5つの灯り会場で、メッセージを入れた“ハートの灯り”をつなぐ「びわ湖灯り絵巻」を継続

して行い、オフシーズンの誘客に努めるとともに、日本遺産を活用した国内旅行誘致を行う。

また、国の補正予算で、食や旅の内容に大きな影響を持つ女性客の誘致を図るため、歴史文化、グルメ、ロケ地など女性に魅力のある観光資源の情報発信を、首都圏、京阪神地区においてメディアミックスなどにより集中的に行う。

中華系外国人を中心に急増している訪日外国人観光客に対しては、活動に即したツールとして個人旅行客用のガイドブックの制作を進めるとともに、重要市場である台湾に加え、訪日外客数が大幅に増加している新規誘致ターゲット国のタイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム等に対して、現地商談会参加やファムトリップを実施し滋賀の認知度を高め魅力を発信、誘客を図る。

さらに教育旅行誘致においては本物の「学び」「体験」が得られる誘致活動を展開し、誘致キャラバンを実施することで、直接旅行エージェントや教育旅行担当教諭への働きかけを行う。

一方、コンベンション誘致では国際ミーティングエキスポ（IME2015）に出展することや首都圏でのセールス活動を通して滋賀の自然観光やアクセスの良さをアピールし、積極的な誘致活動を展開していく。また平成27年7月末には、第39回全国高等学校総合文化祭が滋賀県で開催されることから、積極的な観光交流を図っていく。

目標3の来訪者、居住者双方がともに満足出来る「観光交流」推進の体制づくりでは、ボランティア団体との連携、農業等の地産地消や文化等の啓発に対し支援を行う。

今後、2020年のオリンピック、2024年の第79回国民体育大会滋賀大会といった国や地域を挙げてのイベントや、各地で実施されるマラソン大会等、スポーツツーリズムの地域経済に与える影響は重要になっていく。びわこビジターズビューローでは、びわ湖一周ロングライドやビワイチトレイルランニングプロジェクトへ参画することで本県の観光物産振興、ひいては地域経済の活性化に寄与することとする。

（凡例 ⑨＝新規事業 ⑩＝拡充事業 ⑪＝地方創生先行型交付金対象事業）

1 観光物産情報発信事業（71,282千円）

滋賀県の観光・物産を展望しながら、メディアを有効に活用し本県の持つ奥深い魅力や多様な観光・物産資源を広く継続的に発信することで本県のイメージアップを図ると共に、国内外からの誘客を図る。

⑩ (1) 観光物産情報ホームページの運営

モバイル端末やSNSに対応するために新たに構築した観光情報ウェブサイトを活用し、観光物産情報を効果的、効率的に発信するとともに、県内の観光物産関連情報をびわこビジターズビューローに集約し、情報の一元化を行う。また、滋賀県を目的とした観光需要を喚起するため、アプリやメール等による情報発信を行う。

・観光物産情報ホームページの運営

⑨ (2) 訪日観光客向け観光情報ウェブサイトの構築（創）

急増している訪日観光客に対しニーズに合った観光情報の発信を効果的・効率的に行うため、更新した観光情報ウェブサイト（日本語版）の仕組みを活用し、4か国語（英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語）に対応するウェブサイトの構築を行う。

③ (3) 県域無料W i - F i の整備促進

県域無料W i - F i の整備促進にかかる関係団体等への広報・連絡調整および利用案内にかかる事業を促進する。

(4) パブリシティの展開

マスコミ事情に精通したパブリシティ専門会社を一部活用しながら、プレスツアーや個別の取材誘致等を仕掛けることにより、観光情報を効果的に発信していく。

④ (5) 観光キャンペーン事業（J R 西日本共同キャンペーン事業）

滋賀県の更なる魅力を発信していくため、J R 西日本と共同で観光キャンペーンを事業展開していく。

事業主体「びわこキャンペーン推進協議会」

（構成：滋賀県、びわこビジターズビューロー、JR西日本、各地域観光振興協議会）

- ・観光素材開発、観光ルート開発、新発信ツールの検討
- ・情報誌「滋賀たび」の発行、観光キャンペーンの実施等

(6) 観光展出版事業

市、町、観光協会、地域観光振興協議会等とともに、首都圏や名古屋などで開催される大規模観光展に出展し、連携して滋賀の魅力をPRし、観光誘客につなげる。

出展予定イベント ツーリズムEXPOジャパン2015（9月）、旅まつり名古屋（3月）

(7) 観光案内・観光相談業務

観光・物産の問い合わせ等に対応するため、観光案内・観光相談業務を実施する。

(8) ビワイチ観光ウォーキング認定事業

びわ湖を歩いて一周した人を「ビワイチ観光ウォーカー」として認定する。

2 観光ブランド「ビワイチ」推進業務委託事業（12,600千円）

平成24年度より始めた滋賀をめぐる旅「ビワイチ」ツアーの認定に加え、特別、本物、未知といった視点で市町や観光協会と連携して、滋賀の良さを際立させる観光素材「ビワイチマテリアル」の開発を引き続き進め、「ビワイチ」の旅づくりを強化し、本県の認知度と評価の向上を目指す。

(1) 企画・商品化関連事業

- ・観光素材「ビワイチマテリアル」の開発
- ・認定「ビワイチ」ツアーの募集に向けた旅行エージェント等への売込み
- ・認定「ビワイチ」ツアーに対する補助

(2) 広報宣伝関連事業

- ・ホームページ、Facebook等の管理運営
- ・「ビワイチ」シンボルマークを活用したPR

(3) 品質管理関連事業

- ・個別計画の募集、品質管理
- ・認定委員会の開催・運営

③ 女性を引き付ける「しがの魅力」発信事業（150,000千円）（創）

滋賀の観光スポット、歴史文化、グルメ、ロケ地など豊富な本県の魅力をメディアミックスにより情報発信し、「滋賀県」の認知度を向上させ、本県への誘客を図る。

特に、女性を対象とした旅行市場の動きが活発であり影響力も大きいことから、女性を引き付ける旅の情報発信を首都圏や京阪神に集中的に行う。

4 地域観光活性化支援事業（14,000千円）

本県への観光客の誘致促進のために、県内市町ならびに各地域における広域の観光振興団体が、びわこビジターズビューローと共同、連携して実施する各地域の各種観光客誘致促進事業に対し支援を行う。

- ・地域の観光活性化のために展開する事業
- ・広域観光資源創出事業

5 国内旅行者の誘致活動の実施（1,440千円）

国内の旅行者を対象として、滋賀県への広域的な来訪を促進するため、部会員施設、市町観光協会および各種事業と連携し、滋賀県のさらなる認知度向上を図る事業を実施する。

- (1) 観光客誘致の商談会・キャラバンの取組
- (2) アプリによる情報発信・誘致の取組
- (3) 四季の滋賀の魅力発信「本物の滋賀」“おもてなし旅”の取組
- (4) 観光ブランド「ビワイチ」の取組推進
- (5) スポーツツーリズムによる情報発信と誘致の参画
- (6) 旅行会社の商品企画造成担当者やメディア関係者の招聘による情報発信

6 旅行商品化提携事業（4,716千円）

(1) 旅行パンフレット作成等に対する助成

旅行会社に対して、本県を目的地とする旅行商品の造成を働きかけ、その商品の販売促進のため旅行会社が作成する個人型商品宿泊プランの旅行パンフレットの作成経費等の一部を助成し、誘客増大を図る。

(2) 団体旅行商品等の企画等に対する助成

団体旅行商品等が企画できる旅行社とタイアップし、メディア媒体等を通じ大人数の宿泊を伴う送客が図れる団体型(メディア販売等)商品のパンフレットの作成経費等の一部を助成し、誘客増大を図る。

7 国際観光推進事業（42,515千円）

成熟市場の韓国・台湾・香港・中国等は現地旅行博出展や旅行会社、メディア招請ファミトリップ等で継続的な情報提供により、旅行プラン造成促進や、MICE等の新規需要開拓や潜在需要の発掘を図る。

また、訪日外客数が大幅に増加している新規誘致ターゲット国のタイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピン等には現地旅行博出展、商談会参加やファミトリップを実施し、滋賀の認知度を高め魅力を発信、誘客を図る。

(1) 訪日外国人誘客事業（招請事業）

- ・ 関西地域振興財団、昇龍道プロジェクト、京滋国際観光誘客推進委員会や北陸新幹線関連で石川県、福井県等の広域連携で旅行会社、メディア等を招請し、インバウンド会員施設推薦、紹介、アテンド、商談会等を開催する。
- ・ 海外メディアを県内に招請し、魅力ある観光資源を取材、発信してもらい、現地旅行会社とのタイアップで、特にこれからますます増える個人旅行客誘客を図る。また首都圏在の海外LOPとの商談会を開催し海外旅行会社との連携で商品造成を図る。
- ・ 愛知県、名古屋市とのVJ広域連携により台湾、東南アジア、中国等の教育旅行関係者を招聘し、滋賀・びわ湖の観光資源を視察、体験してもらい教育旅行にふさわしい地域であることをPRする。

⑧・外国人観光客の利便性向上のため、県内の宿泊施設における多言語通訳の提供事業を試行する。

(2) 情報提供・認知度向上事業（派遣事業）

国内・海外で開催される旅行博にブース出展し、旅行会社や現地国民へのPRを実施し、滋賀・びわ湖の認知度向上や旅行商品造成を促進する。また、愛知県、名古屋市との広域連携により東南アジア、台湾の現地教育旅行関係者や旅行会社を訪問し教育旅行誘客を図る。

⑨ (3) 海外市場情報発信強化・誘客促進事業（創）

訪日外客数が大幅に増加している中、最重要市場である東南アジア市場からの誘客を図るため、新規誘致ターゲット国のタイ・マレーシアにおいて知事によるトップセールスを行い、現地プロモーションや商談会を開催する。その機会を効果的に活用するため、滋賀県食のブランド課と連携し、現地で「滋賀・びわ湖」の魅力発信を行う。

また、宿泊者数の4割以上を占め成熟市場である台湾に対しては継続して旅行博・見本市に出展することで滋賀の認知度を高め魅力を発信、誘客を図る。

併せて、現地メディアや旅行エージェントを招請するファミトリップを実施し、旅行商品の造成等を図る。

(4) 海外向け広報、観光情報の提供

- ・ ウェブサイトgo.biwakoの改修・活用・運用管理
- ・ SNSを活用した外国語4言語の国内外への情報発信
- ・ 英語マップ改訂増刷、海外リーフレット(英語・韓国・台湾・中国・タイ・ベトナム・

インドネシア語版)増刷、「go.biwako」4言語増刷

- ④・Good Luck 誌の更新・増刷（英語・中国繁体字・韓国語）、Good Luck 誌の中国簡体字・タイ語・マレー語の追加制作

⑤ (5) 大津市インバウンド国際観光推進事業

大津市の台湾でのトップセールス実施にあたり、現地プロモーションおよびファムトリップ事業を受託する。

(6) 部会事業

- ・インバウンド部会事業として認定の海外旅行博参加会員への助成
- ・会員対象にインバウンドテーマ別県内研修会実施（研修先未定）

8 教育旅行誘致事業（2,696千円）

次世代を担う子ども達に対し、日本最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や奥深い歴史、文化を素材とした様々な体験学習の機会を提供することにより、滋賀への理解を深めるとともに、県外からの誘客を促進するため、エージェントや関係団体に対し、情報提供や誘客・宣伝活動を行う。

(1) 誘致促進事業

- ・中学・高校教育旅行担当教諭現地研修会実施
- ・旅行エージェント現地社員研修会への参画
- ・首都圏等旅行会社への誘致キャラバン実施
- ・日本修学旅行協会および全国修学旅行研究協会への賛助会員継続

(2) 受入事業

- ・ホームページの運営
- ・体験学習プログラムの更新
- ・専門情報誌等への寄稿

(3) 教育旅行誘致部会事業

- ・誘致キャラバン参加部会員への助成

9 コンベンション誘致事業（1,210千円）

国内外の会議や大会、企業研修等のコンベンションを誘致するため、積極的な情報の収集活動を実施し、滋賀県への来訪者の拡大を図る。

第39回全国高等学校総合文化祭、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスタース2021、2024年国民体育大会滋賀大会などの文化・スポーツイベントを見据え、滋賀県のプロモーションのチャンスとして最大限に活用するため、コンベンション部会員はもとより、インバウンド部会、国内旅行誘致部会、教育旅行部会、物産振興部会とも連携をとり情報共有を図ると共に、県、市、他地域コンベンション組織をはじめ関係機関と協力体制を構築し、より積極的な活動を図る。

(1) 情報収集・誘致活動

- ・国際ミーティングエキスポ（IME2015）ブース出展
- ・研修会、セミナー参加
- ・5地区合同セミナー・セールス実施およびデータベースの管理
- ・JNTO(日本政府観光局)・JCCB(日本コンgres・コンベンション・ビューロー)の活用

(2) 誘致・受入用ツール等作成

- ・ユニークベニュー施設、工場見学可能施設、郷土文化や芸能等の情報収集
- ・観光パンフレット、観光マップ、コンベンションバッグの作成
- ・部会HP情報等の更新

10 物産振興事業（9,939千円）

本県で製造販売されている数多くの優れた県産品を県内外に紹介するための展示即売会の開催や、販路開拓および観光物産宣伝活動を実施し、本県のイメージアップを図る。

(1) 郷土物産展開催事業

- ・第28回琵琶湖夢街道大近江展の開催

会場 高島屋日本橋店

会期 平成28年3月、6日間（予定）

規模 50社程度

内容 県産品の展示・販売および製造実演、滋賀県の観光・文化紹介等

- ・その他首都圏での物産展の開催

(2) 滋賀の特産品・ブランドづくり事業

地域間競争や新商品が氾濫する中で、滋賀県で生産されている会員の特産品を地域の消費者にさらに認知度を高め地産地消（商）を進めるため、地元の大規模店舗における「滋賀のええもんうまいもん祭り」や地元量販店等での物産展を開催する。

(3) 物産宣伝紹介等事業

- ・京阪神での販路の拡大
- ・ホームページ「ええもん滋賀」のデータ更新、情報発信
- ・東京観光物産情報センター（ゆめプラザ）における宣伝紹介

11 観光物産情報センターの受託管理（23,890千円）

県から管理運営業務を受託している東京観光物産情報センター（ゆめプラザ滋賀）において、首都圏における観光・物産振興の拠点施設として、観光案内や物産の常設展示・紹介および販売など、積極的かつ効果的な事業展開を図る。

首都圏における観光情報発信拠点である（ゆめプラザ滋賀）の情報発信力強化の継続・充実するとともに、首都圏での旅行会社・マスコミ等への訪問営業、商談会等を実施し、更なる認知度向上および誘致推進を図る。

12 日本観光振興協会共同事業（1,000千円）

国内全てを活動範囲とする(公社)日本観光振興協会に対して負担金を拠出することにより、全国の都道府県とともに全国広域観光振興事業に参加する。

主な事業

(1) 観光人材の育成

観光地域づくり人材育成研修、多様な人材による地域観光振興支援事業

(2) 魅力ある観光地域づくりの推進

観光地域づくり基盤形成促進、観光地域への送客・誘客強化、顕彰事業等

(3) 広域観光の推進

全国広域観光ルート整備促進事業、観光緊急支援事業等

(4) 地域インバウンドの推進と受け入れ体制の整備

(5) 新たな観光アイテムの創出とICTを活用した観光需要の喚起

13 観光物産事業功労者等の表彰 (100千円)

観光物産事業の発展、振興に功労のあった個人、団体および優良従業員の表彰を行う。

14 各種大会への参画・後援等

(1) びわ湖大花火大会への参画

・滋賀の象徴である「びわ湖」の夏の風物詩として開催される、びわ湖大花火大会に参画する。

開催予定 平成27年8月

(2) びわ湖一周ロングライド2016への参画

・環境にやさしく健康増進に役立つ自転車の普及を促進するため開催されるサイクリングイベントに参画する。

開催予定 平成28年3月予定

(3) ビワイチトレイルランニングプロジェクトへの参画

・健康・観光をテーマとしたトレイルランニング大会に参画する。

開催予定 平成27年5月予定(比叡山) 11月予定(高島市朽木)

(4) 観光物産関連行事への後援等

・滋賀県内の観光物産の振興に寄与すると認められる行事や企画について、後援、協賛および共催を行う。